

第250回東京都都市計画審議会

議案・資料〔別冊(1)(意見書)〕

東京都市計画事業上篠崎一丁目北部土地区画整理事業の
事業計画変更に伴う意見書の審査について

一部不開示

(令和7年10月)

東 京 都

東京都市計画事業上篠崎一丁目北部土地区画整理事業事業計画変更（第5回）に伴う意見書

縦 覧 期 間 令和7年1月16日～1月29日
意見書受付締切り日 令和7年2月12日

意見書整理一覧表

意見 書 整理 番号	意見書提出者					意見書 ページ	摘要
	住 所		氏 名				
都道府県	区市町村名	町丁名	番地	号	他		
1						意－1	

〒163-8001

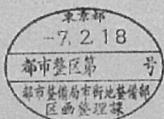


新宿区西新宿23831

東京都都市整備局市街地整備部
区域整理課

公共区域整理担当

(東京都府第3本府舍11階)



X



事業計画変更(第5回)案の総覧を見たの

NO. 1
2025
DATE 2/12

意見書

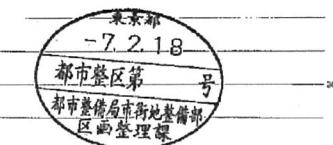
① 増家の申には変更②を見る限りが無いとか私のように
スーパーハイに掲載してあります。とありますからハイコン
がなく、北総崎山まちづくり事務所に行き、意見させて頂きました。
私事ですが増家の方の変更②と本寺の方に成して頂きました
近くで揮毫出来ません(2025年2月23日)頂けますのでよろしく。

② お墓の移転について

北総崎山マチリード事務所は国が法1に上げ再開発事業や
区画整理事業と一緒にまとめてと2区域の資金をまとめて
としてあります。第1回高規格堤防(スーパー堤防)事業の説明会
が開かれ、ここで妙勝寺移転への話しがありました私と増家で
あり、毎月とアパートと2種類の地区にありますので、お寺さんの
苦労は痛いほど分かります。

ところで、妙勝寺建設委員会(平成21年8月)に陳述した
資料がお手元のとて添えてあります。
尚、私と陣内第9号と同じくこの街の住民の1人(増家)
である方が第9号をおこなうのと並んで頂ければとあります。

③ スーパー堤防用地の不安から、HDIの善光寺さんへ行こと申す
堤防高さ崎山下100m、増家も2倍の千を越えて2千基
の墓石が建っていました。お寺の方のお話を聞かせて頂き、
仮木壁の横壁(裏壁)が少し(本)れることを知り、
ビル111号(この南側)や増家さんの墓石の神像等を
搬えて頂きました。ですから、妙勝寺墓地移転説明会
第2回自ら、語せて頂きました。(令和6年1月23日(水))



KOKUYO

NO. 2
2025
DATE 2/12

妙勝寺 墓地移転説明会を聞いて、

参加者 11月20日は100名、23日は300名と多くの増家さんが
出席くださいました。質問も多くの方が頂いていました。

① 妙勝寺さんは移転するのに、瑞門神社は盛土、移転は
無いのか。

② 2月11日高台にておなが家界隈が西ですか

③ 2月10日堤防の北側はおれくびですか。
今回で何%になりますか。破ったと云うはあと何年かかるのか

④ 移転先となる堤防の現段より北は100mで
等と質問がありますか。

⑤ この事業に関する資料はどこで公報/会で出されています
(この上総崎山/東東部地区の住民は、1カタチで見
れない限り全く理解出来ないと感じます)

⑥ 移転補償問題を出ていましたが、東日本大震災に
震れた方お高台にお墓を移転したがと語っていました。
この点の言う通りで私の方で

⑦ この事業で感じたことは、行政側の姿勢は
一番いいです。権利者に尊重されないと云われ
ました。高台を払い、二人で無駄遠山(がい)、
大地震で被災された時に使ふとか、中居はよき前山
を墓地に使って便りないと意見を述べています。

KOKUYO

NO 103
2025
DATE 2.12

最後は、仏教園内の寺を抜かりなく見て下さい。

寺院を見て、いよいよは、〇〇家の僧侶と壇家さん
お説教で川口春、私の彼岸会の旅事、おちさん葬儀事
(おじいさんを車の上に心の旅)所、先祖供養を12.10を済め
て頂く壇上にて大事と受けます。
日本橋に生、死をみた。朝日浪子といふ名前が運び
12歳で亡くなりました。

10

20

30

KOKUYO

「基础设施」の中止を求める陳情

(建設委員会付託)

受理番号 第 0 号

受理年月日 平成 27 年 6 月 12 日

付託年月日 平成 27 年 6 月 26 日

陳情者

陳情原文 私どもは、江戸川区上郷崎「妙勝寺」に墓地を所有（使用）している者とその経営者であります。

この度「上郷崎一丁目北部土地区画整理事業」により私どもの墓地が、借地者メートルほど先に、移転するとの旨をお聞きいたしました。

私どもは、この度の墓地の移転を中止していただきたく心を願うものであります。

その理由は次のとおりです。「妙勝寺」境内で守られている 450 基を超える私どもの墓地は、大正の墓防大改修の際と都立郷崎公園造成の際の二度にわたる墓地移転を経験しました。私どもの先祖は、そのつど大変な思いでその大事業に協力してきましたのであります。そして近年になり、私どもは、静かに先祖の靈を尊崇して穏やかな日々を過ごすことができるようになってきたところであります。

つきましては、この度の墓地の移転を再検討され、中止してくださるよう陳情いたします。

江戸川区郷崎地域の「スーパー堤防建設・まちづくり計画の撤回」を求める陳情

(建設委員会付託)

受理番号 第 5 号

受理年月日 平成 27 年 6 月 12 日

付託年月日 平成 27 年 6 月 26 日

陳情者

陳情原文 江戸川区は、郷崎公園の地域にスーパー堤防をつくる計画を進めています。スーパー堤防とまちづくり（道路、区画整理、公園）が一体の計画で、多額の税金を投入し、住民に苦痛を伴う移転を強いて、今のまちをつくり戻せる必要は全くないものと考えます。

理由は次のとおりです。

(1) 痛崎地域はゼロメートル地帯ではありません。

郷崎地域は、水害時は区内で安全な地盤です。

(2) 今の堤防は大正時代に改修してから一度も壊れず、丈夫です。

2008 年には、河側へ堤防の補強工事が行われ、さらに粗石を増しています。

(3) 盛り土をして、紙道にすると暮らしにくくなります。

高齢者、障害者には負担になります。

(4) 堤防は、川の増水時の避難場所にはなりません。

気象庁は、川の増水時には川に近づかないでください、と言っています。

(5) 地域の歴史と文化は大事にしなければなりません。

盛り土をして、浅間神社を埋めにし、妙勝寺とお墓を移転することは、歴史と文化を傷つけることになります。是くこの地に移り住んできた神仏への尊敬をおろそかにすることになります。

以上のことをかき、下記のとおり陳情します。

記

郷崎地域の「スーパー堤防建設・まちづくり計画」を即時撤回すること。

8/30

2015/6/24 09:26

2015/6/24 09:26

2015/6/24 09:26

[平成21年 8月 建設委員会-08月04日-04号] (■■■■■の本人陳述分科)

◎…4 参考人 …4でございます。

私は、横崎公園地区のスーパー堤防をつくると、それにおわせて288を変更してつくると、さらには、スーパー堤防に該当する地区を区画整理し、新たな街づくりを進めるということが、平成17年でございましたか、突如地元にもたらされました、いろいろ地元での対応が始まったわけですけれども、スーパー堤防化する必然性というのはあるのかどうかということが一番の問題になるわけですけれども、スーパー堤防化するという前提に、カスリン合風の被害状況がもとになって、200年に一度の大洪水に対応できるようにするためにいろいろな説明が最初あったわけですけれども、それからさまざまに理由が追加されてまいりまして、建設地区、横崎公園に道路をつくったんだとか、あるいはまた、被災地によるものであるとか、さまざまな理由が付加されできたわけですけれども、原点はスーパー堤防化ということでございますけれども、現在の江戸川は、大正2年に内務省の調査によりまして、堤防が整備された、そこが始まりなわけですけれども、それから20年ほどかけて約5m高の旧堤防ができ上がっておりました。その旧堤防の時代にカスリン合風が起こってきました。しかし、江戸川は全く決壊などしていませんでした。決壊したのは利根川の右岸と左岸2カ所、さらには利根川の支川で1カ所、中川とか猿川とかさまざまにあるわけですけれども、その1カ所とさらには荒川水系での決壊、そういうことによって引き起こされたわけですけれども、そういう前提を全く無視して、江戸川区は、江戸川が決壊する、それによって60万区民が大災害をこうむるというふうな説明を申しますか、説明というのか、そういう説明を誰かにさまざまな機会とメディアを通じて流しているわけですけれども、私は、江戸川は絶対に決壊することはないと認識でございます。

当初5m高であったものでも越水しなかった堤防を昭和40年初頭にさもなく5m高さを上げて現在の堤防ができ上がっているわけです。当時、カスリン合風のときに利根川を塞がれた水量は1万8,000t、その後改めて1万7,000tというふうに言い直しております。しかし、当時、江戸川に流れ込んだ水量は8,100tというふうな計算がされているわけですけれども、その後にさまざまな河川の改修が進んで、それ以外、大きな水害は起こっておりません。それにはもちろんさまざまな利根川水系、荒川水系の東京湾に至る間の堤防の整備が進んだということがございます。また、一面で研究も進んだと、しかし、この研究が進んだということは、喜ぶべきことばかりではないと、そこから発表されてくる結果については、非常に豊富に発表されています。1万8,000tから1万7,000t、1万7,000tから2万2,000tという間に流量を変えてきています。引き上げて発表してきている。それで進みますと、到底耐えられる川の状態ではない。そこで堤防をより強固にすると同時に、ダムを建設すると、ダムに1,500tを詰め込んで、1万8,500tを河川で対応するというふうなことを言っていたわけです。しかしながら、既に六つあるダム群に対して、さらに十五、六のダムを加えなければ、これに対応できないといって、ダム化が進められた。ところが、地元の堤防、あるいはまた公共事業への批判、そういうものによって、あるとき、1990年代、何と1台のダムが9ダムは中止、9ダムは立ち消え、そういう状況。それじゃ、その6,500tはどうするんだと。ところが、その回答はない、なぜ回答がないか。いろいろと私は専門家を尋ねて歩きました。そうしたら、それは当然なんだ。そんなに水が流れれるんじゃなくて、ダムをたくさんつくったといいのは利水なんだ。水道水、工業水、経済の発展によって必要化される水をため込むために、そういう考え方をつくったんだと。しかし、経済状況が変わってくる。人口も減ってくる。したがって、なくても対応できる。そんな莫大なお金かける必要はないということで、なくなったわけです。

それじゃ、なぜそう言ったのか。利水なんというと、ダムをつくるところにはばかり犠牲を強いて、我々の犠牲によって大都會が潤うだけじゃないかと、そういうことになるから、治水と。それで断じちゃった。

しかし、治水上必要ならば、工業用水、水道水が必要じゃなくって、多目的ダムとして残さなきゃならない。そう考えるのは普通だろうと思うんですけども、必要がないということになる。しかし、2万2,000tという高水量は対応していないといふのはなぜなのか。ある人いわく、ダムを建設するという大土木事業にかける予算が浮いてしまうじゃないか、これはどうするんだと。大土木事業は必要だと。そういうところからある知恵者が頭をひねって、高規格堤防なんということを書いた。したがって、ちょうど言い出された時期と廃止された時期がほぼ同時代、なるほどなどというふうな感じでございます。それは大前提ですけれども、利根川の水底はうんと高い。江戸川の水の底は高い。したがって、江戸川に流れ込む量というのは、どんなことをしたって

限られている。普通の川ならば、そういうときに両方向じようにする施設をつくる。しかし、江戸川はずっとそういう必要性というものを学者が指摘しても行われてこなかった。そういう現状です。

したがって、もし流れない水が江戸川に流れるというならば、国土交通省もそう言います。東京都もそう言います。それから、河川事務所もそう言います。当然それだけの水が江戸川に流れ込むとしたら、江戸川はなんかが破れるんじゃないよ。破れるのは調査周辺の、水ががつと最初に来るところが破れるんだと。そんなことは常識だと、そういうふうな見解が本来の見解でありますけれども、水防ということは大事ですから、先ほど…1さんがおっしゃったように、あらゆる手段をもって犠牲を強いない水防計画を強化するというふうに考えて直すべきであるというふうに考えてあります。

それから、時間がなくなっちゃいましたけれども、288号線も、静かな環境のいい住宅を貰く必要はないといふ考え方です。今回、計画されておりますのは、ピンクの路線でございますけれども、事業にはここまで来ている。しかも、これが堀又街道で、扇骨街道です。こっちのほうが近回りなんです。事業所も何もないところをわざわざ通す必要はないというのが私の、そして、地元全体の考え方です。

時間がありませんので、以上です。

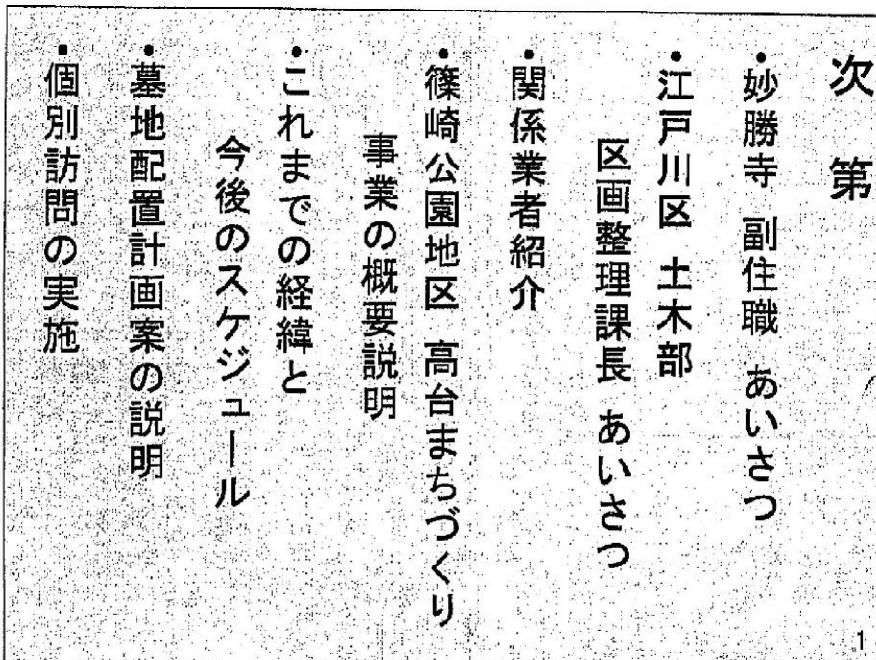
妙勝寺 墓地移転 説明会

質問時間に時間があと頂きました。
あるいは会場会員に頂きました。

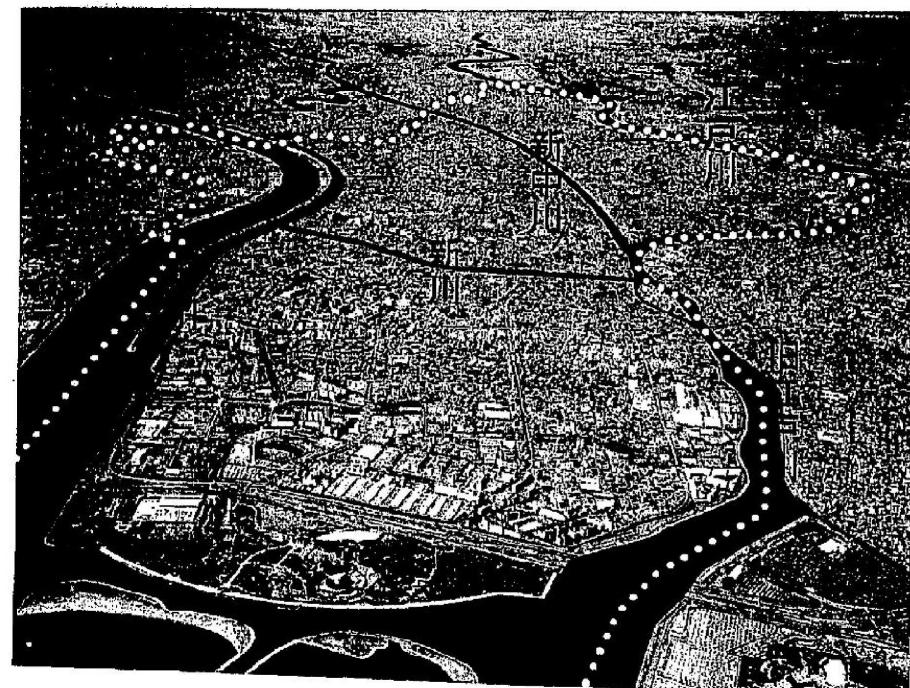
【日時】 令和6年11月20日(水) 午後7時~
令和6年11月23日(土) 午前11時~

【場所】 篠崎第二小学校 体育館

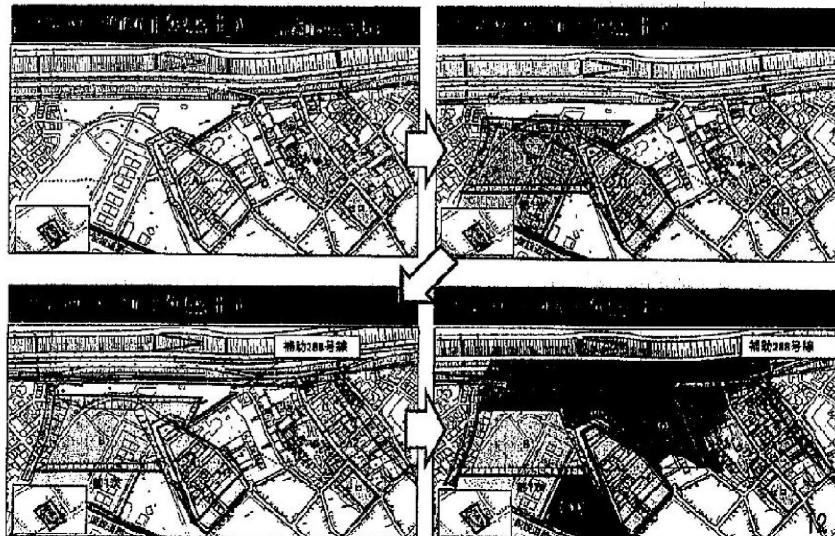
2



篠崎公園地区 高台まちづくり事業 の概要説明



盛土工事 ステップ図



事業全体スケジュール

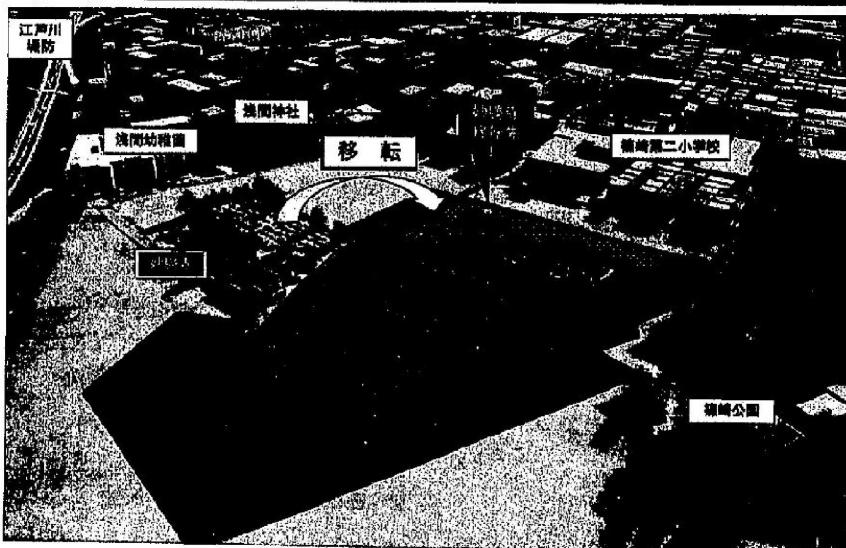
■事業着手(協定締結)から完成までの流れ(予定)

事業	平成 (年度)						令和 (年度)													
	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
高規格堤防整備事業 〔区〕																				
篠崎公園整備 〔都〕																				
土地区画整理事業 〔区〕																				
都市計画道路事業 〔区〕																				
緑地整備 〔区〕																				

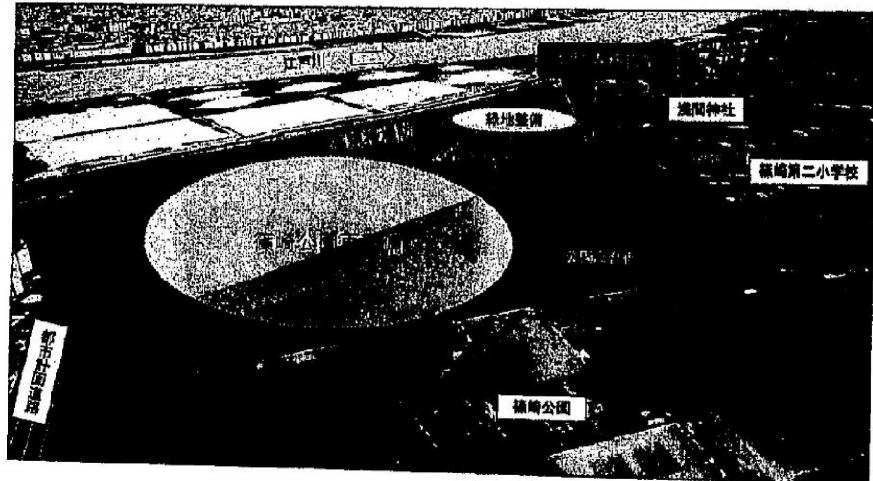
現在 寺院・墓地
移転

14

妙勝寺 移転先イメージ



篠崎公園地区高台まちづくり 完成イメージ



15